

地球温暖化政策が総選挙を左右する

全国世論調査によると、野心的な排出削減目標、環境投資、および再生可能エネルギー政策が、総選挙の票を左右する！

先日行われた全国世論調査では、日本人の有権者の76%が、野心的な地球温暖化政策を掲げる政党に投票する傾向にあるという結果が出た。これは、今月末に予定されている総選挙において、地球温暖化政策が、選挙における状況を大きく左右する可能性があることを示している。

「地球温暖化や環境投資に関する政策は、実は今回の選挙において、非常に重要視されている問題です。日本の有権者たちは、この重大な政策について、これまで以上のものを求めています。これに応えることのできない政党は、何百万という浮動票を失うことになるでしょう。」と世論調査を実施した国際的なキャンペーンネットワーク、AVAAZの事務局長リッケン・パテルは話す。

まだ投票する政党を決めていない有権者の69%が、地球温暖化問題に積極的に取り組もうとする政党に投票する傾向にあることから、地球温暖化政策は、そういった浮動票を獲得するための重要な役割を果たすと見られている。

「各政党は、それぞれの地球温暖化政策を、この選挙における重要事項としてまだ位置づけていないようです。しかし、地球温暖化政策を強く推進する政党が、多くの浮動票を集める可能性が高くなっているのです。」と気候ネットワーク東京事務所所長、平田仁子は言う。

多くの有権者は、民主党と自民党の地球温暖化政策についてよくわからないと答えているが、その中でも40%の有権者が民主党を支持しており、自民党支持者の20%を引き離している。2020年の排出削減目標に関して自民党と民主党の違いを具体的に説明すると、有権者の50%が2020年までに1990年比で25%削減するという目標を掲げる民主党を支持したのに対し、2020年までに1990年比8%という削減目標を掲げる自民党を支持するのはわずか29%にすぎなかった。

「現在どの政党にも、地球温暖化政策に敏感な有権者は存在しています。ということは、どの政党も地球温暖化対策を強化し、環境投資や再生可能エネルギー普及政策を前面に出すことで、他党から票を奪える可能性があるということです。」とWWFジャパン・地球温暖化プログラムリーダーの山岸尚之は言う。

気候ネットワーク・WWF・AVAAZ の国内外 3 団体が合同で発表した世論結果によれば、有権者の 19% が、地球温暖化問題に積極的に取り組む「グリーン・ニューディール」が日本の経済活性化に「非常に重要」と回答している。

パテルは「私たちの調査では、日本人の多くが『環境経済を重視する有権者』であることが判明しました。この巨大な有権者層の票は選挙を大きく左右するでしょう。オーストラリアやアメリカのように、野心的な地球温暖化政策を掲げた政党が、地球温暖化対策に消極的な長期政権政党に取って代わる未来図がありえるのです。」と語る。

このプレスリリースに関する詳細、またインタビューのお申し込みは、下記までお願いします。

- リッケン・パテル、Avaaz.org 事務局長 : +1-646-2290-5416 (EST)、+1-888-922-8229 (EST)、+32-470-860-660 (CET) ; media@avaaz.org
- 平田仁子、気候ネットワーク(東京) : 03-3263-9210 ; khirata@kikonet.org
- 小西雅子、WWF ジャパン(東京) : 03-3769-3509 ; konishi@wwf.or.jp
- 相田真彦、Greenberg Quinlan Rosner (世論調査会社) (ワシントン DC) : +202-478-8300 ; maida@gqrr.com

主要な調査結果(全調査メモは添付) :

- 有権者の 76% が、野心的な地球温暖化政策を持つ政党に投票する傾向にある。わずかに 12% についてその傾向にないことが判明している。自民党支持者のうち 79% が、そして民主党支持者のうち 81% が、積極的な地球温暖化政策を持った政党を支持するという回答であった。まだ投票する政党を決めていない有権者の間では、69% が積極的な温暖化対策を持つ政党を支持している。
- 回答者の 19% が、投票の際には、クリーン・エネルギー経済、つまりグリーン・ニューディール政策の展開が非常に重要であると答えた。これらの有権者はどの政党にもまんべんなく存在しており、自民党支持者の 23%、民主党支持者の 20%、その他の政党の支持者の 21%、および浮動層の 16% を占めている。
- 二大政党の地球温暖化政策に関して既に知っていることから、有権者は 2:1 の割合で自民党よりも民主党を支持している。その内訳は、有権者の 40% が民主党の立場が自分の立場に近いと回答しているのに対し、自民党の場合はわずかに 20% にとどまっている。

調査の方法 : 国際的に活躍する世論調査会社 Greenberg Quinlan Rosner (アメリカ・ワシントン DC) が、サンプリング法として RDD (無作為番号ダイヤル) 方式を使用し、日本国民を代表する 20 歳以上を対象に電話調査を行った。調査期間は 7 月 12 ~ 27 日。総回答者数は 970 人だった。株式会社 アダムスコミュニケーション (日本・東京) が、CATI (コンピュータ支援電話インタビュー) を使用して実際の電話インタビューを行った。調査は日本の有権者を人口統計学的に、また地域的に代表するように行われている。RDD 方式での CATI インタビューは、世論調査の際に先進国で一般的に行われているものである。

世論調査に関する方法についての詳細は、調査を行った世論調査会社 (上述) にご連絡をお願いします。

日本調査

単純集計

8月 2009

970 有効回答

117 自民党支持者

364 民主党支持者

72 他党支持者

417 未決定

問 あなたは、どの政党に投票したいと思いますか？これから読み上げる中から1つだけお答えください。

	合計	自民党	民主党	その他	未決定
					(%で表示)
自民党.....	12	100	-	-	-
民主党.....	38	-	100	-	-
公明党.....	3	-	-	42	-
共産党.....	3	-	-	35	-
社民党.....	1	-	-	11	-
国民新党.....	0	-	-	4	-
改革クラブ.....	-	-	-	-	-
新党日本.....	0	-	-	1	-
その他.....	1	-	-	7	-
未決定・非回答.....	43	-	-	-	100
自民党/公明党.....	15	100	-	42	-
民主党.....	38	-	100	-	-
他政党.....	4	-	-	58	-

問 あなたは、地球温暖化防止に積極的な政党に、投票したいと思いますか、それとも思いませんか。これから読み上げる中から1つだけお答えください。

	合計	自民党	民主党	その他	未決定
投票したいと思う.....	76	79	81	83	69
投票したくない.....	12	15	11	8	13
未決定・非回答.....	12	6	8	8	18
投票したい - 投票したくない.....	64	65	70	75	56

問 クリーンエネルギーを奨励して、経済を活性化させるグリーンニューディールが世界で流行っています。次の総選挙でどの政党(どの候補者)に投票するかをあなたが決める際に、日本のクリーンエネルギーによる持続可能な経済発展に関する、その政党(その候補者)の考え方はどのくらい重要ですか？

	合計	自民党	民主党	その他	未決定
非常に重要.....	19	23	20	24	16
ある程度重要.....	57	58	59	53	56
あまり重要でない.....	18	16	18	18	19
まったく重要でない.....	3	2	2	3	4
未決定・非回答.....	3	1	2	3	5
非常に重要/ある程度重要の合計.....	76	81	79	76	72
重要でない合計.....	21	18	20	21	22

問 地球温暖化防止に関する自民党と民主党の立場に関して伺います。あなたがご存知の事柄から判断して、どちらの政党の立場の方があなたの考えにより近いですか？

	合計	自民党	民主党	その他	未決定
民主党.....	40	9	66	38	26
自民党.....	20	69	9	35	14
未決定・非回答.....	40	22	25	28	60
民主党 - 自民党.....	19	-61	58	3	12

問 自民党と民主党の地球温暖化防止に関する立場についてもう少し説明します。

自民党は温室効果ガスの削減目標として1990年対比8%削減の案を掲げています。一方で民主党は1990年対比で25%削減の案を掲げています。

あなたはどちらに賛成ですか。

	合計	自民党	民主党	その他	未決定
民主党.....	50	26	67	43	44
自民党.....	29	65	23	36	24
未決定.....	20	9	10	21	33
民主党 - 自民党.....	21	-38	45	7	20

問 居住地域

	合計	自民党	民主党	その他	未決定
北海道.....	4	3	5	6	3
東北.....	7	4	7	11	8
関東.....	34	33	34	32	34
中部.....	18	20	19	13	18
近畿.....	16	17	15	17	18
中国.....	6	9	6	6	5
四国.....	3	4	3	3	2
九州.....	12	10	10	14	13

問 回答者の年齢

	合計	自民党	民主党	その他	未決定
20 - 24.....	13	16	12	13	14
25 - 29.....	6	9	7	3	5
30 - 34.....	15	15	16	18	13
35 - 39.....	11	13	10	11	11
40 - 44.....	12	9	10	8	16
45 - 49.....	9	8	10	11	8
50 - 54.....	9	6	9	17	8
55 - 59.....	11	12	10	10	12
60 - 64.....	13	13	15	10	12
64歳以上.....	-	-	-	-	-
(回答なし).....	-	-	-	-	-
15-24.....	13	16	12	13	14
25-34.....	21	24	24	21	18
35-49.....	32	29	30	31	35
50-64.....	33	31	34	36	33

問 婚姻形態

	合計	自民党	民主党	その他	未決定
既婚.....	67	66	66	67	70
未婚.....	32	33	34	33	30
非回答.....	0	1	0	-	0

問 世帯主かどうか

	合計	自民党	民主党	その他	未決定
世帯主.....	45	50	52	53	36
世帯主でない.....	55	50	48	47	64
非回答.....	-	-	-	-	-

問 世帯収入

	合計	自民党	民主党	その他	未決定
500万円以下	35	36	33	43	35
500万円 から750万円未満	22	21	27	22	18
750万円から1000万円未満	14	16	17	11	12
1000万円 から1500万円未満	4	6	5	7	2
1500万円から 2000万円未満	2	2	3	-	1
2000万円以上	2	3	2	1	1
非回答	21	16	14	15	30
1000万円以上	7	10	10	8	4

問 性別

	合計	自民党	民主党	その他	未決定
男性	49	58	60	51	38
女性	51	42	40	49	62